

練馬区立リサイクルセンター

ゆずりは vol.50

FEB. MAR. 2021

ねりま 環境・リサイクル情報誌 発行年月：令和3年(2021年)1月
発行：練馬区立リサイクルプロジェクト、アクティオ・練馬リサイクル共同事業体
練馬区立リサイクルセンターホームページ[https://www.nerima-r.jp/]



お気に入りの布で みつろうラップ



地球を守るために世界が動き始めています！

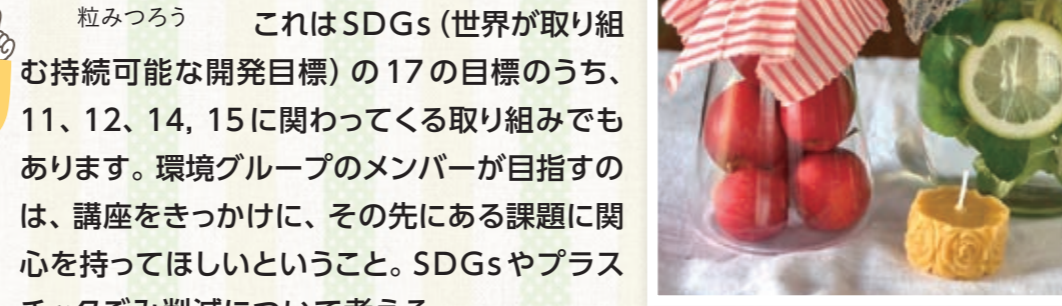
レジ袋有料化が始まり、ますますマイクロプラスチックごみ問題への注目度が高まっています。EUでは、2030年までにすべてのプラスチック包装をリサイクルし、使い捨てプラスチックを削減すると発表。一部のグローバル企業も、2025年までのパッケージ・リサイクル100%を宣言するなど、地球を守るために世界が動き始めています。

私たち一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用を控えるとともに、使用後は資源化できるよう分別を徹底するなどの取り組みを進めるのはとても大事なことです。その一例として、使い捨てのプラスチック製ラップの使用を見直し、何度でも洗って使える天然素材の「みつろうラップ」を手作りする動きが広がっています。大泉リサイクルセンターでも環境グループのメンバーが「みつろうラップ作り」講座を企画。区民の皆さまからも大きな共感を得ています。

SDGsの視点で「みつろうラップ」作りを楽しみましょう

みつろうとは、ミツバチが巣を作るために分泌する蜜のこと。この蜜を木綿の布に染み込ませたもので、食器用洗剤や水で洗うことができ、繰り返し使えるのが大きな魅力です。熱に弱いので、電子レンジには使えませんが、手のぬくもりで軟らかくなって皿や瓶の口にフィット。食品や野菜などもそのまま包んで保管

できます。目的によって使い分けすることで、プラスチック製ラップの使用を大幅に削減できます。これはSDGs(世界が取り組む持続可能な開発目標)の17の目標のうち、11、12、14、15に関わってくる取り組みでもあります。環境グループのメンバーが目指すのは、講座をきっかけに、その先にある課題に関心を持ってほしいということ。SDGsやプラスチックごみ削減について考える機会として、「みつろうラップ作り」を楽しんでいただけたらと思います。



練馬区の素晴らしい自然環境を講座につなげたい!

数々のヒット講座を生み出している、大泉リサイクルセンターの環境グループ。地産地消、旬、手作りをベースに、環境やリサイクルへの想いを取り入れて展開する、新しいカタチの講座に大きな期待が寄せられています。「練馬大根で切り干し大根づくり」「練馬産稲穂でお正月飾りを作ろう」「藍の生染め体験」「桜染めストールを染めよう!」「ブドウの蔓でクリスマスリースを作ろう」...これらの講座の材料はすべて練馬産・大泉地区産。材料をリサイクルするだけでなく、中には生産から収穫、加工まで関わったものも。練馬区ならではの、生産の背景を

知ることから講座企画を掘り下げます。メンバーの関 悦子さんが5年以上前から実践していた「みつろうラップ」を講座に取り入れる際には、大泉学園で養蜂業を行っている鹿野愛恵さんを訪ね、ミツバチの生態から学びを深めました。「将来的には、講座で使うみつろうも地産地消したい!」とリーダーの栗城久留美さん。養蜂ができる練馬の自然に感謝しつつ、メンバー全員が心を一つに、環境問題への理解を深める講座の企画に力を入れています。

養蜂業を営む鹿野愛恵さんを訪問



写真左から
小山良子さん、栗城久留美さん、武政弥生さん、関 悦子さん



鹿野愛恵さんが生産するはちみつ

HOW TO MAKE BEESWAX WRAP

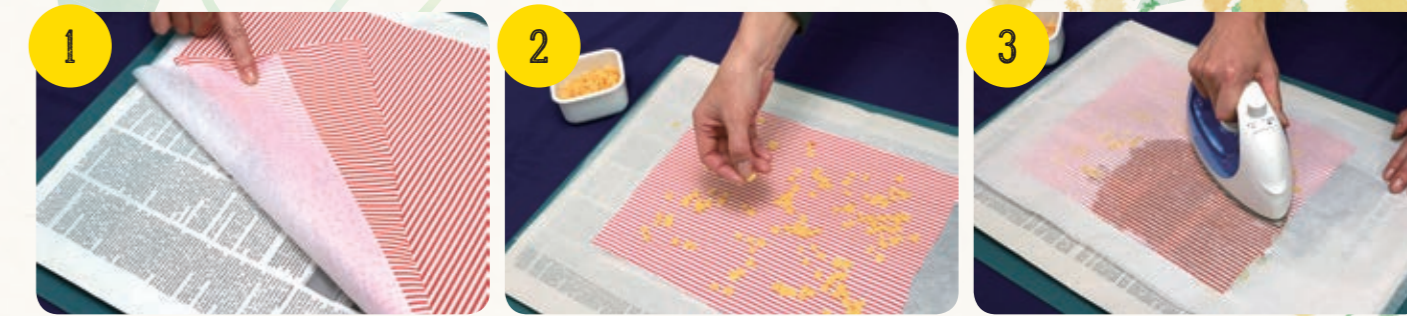
みつろうラップの作り方

みつろうラップを手作りする楽しさは、木綿の布がそのままラップになるという点。お気に入りの布でさまざまな大きさや形のみつろうラップを作ってください。



- 材料
- ・粒みつろう
 - ・木綿の布
 - ・新聞紙
 - ・クッキングシート
 - ・アイロン

作り方



1 新聞紙の上に、クッキングシート、
2 ①の布の上に粒みつろうを散らす。
3 ②の上にクッキングシートを重ねて、アイロンをかける。



4 布全体にみつろうが溶けたら、クッキングシートをゆっくりはがす。



HOW TO USE BEESWAX WRAP

みつろうラップの使い方

天然素材で、水で洗って繰り返し使えるのが魅力! エコでおしゃれなみつろうラップですが、使い方に制約もあります。メリットを生かして、上手に暮らしの中に取り入れましょう。

メリット

- ①水で洗って、繰り返し使えます。1年くらいはOK! 乾きも早いので、お手入れも簡単です。
- ②みつろうには抗菌・防腐作用があるので、プラスチック製ラップと同じように、食品を新鮮に保ちます。
- ③みつろうラップには適度な通気性があるので、自然な状態で商品などを保存できます。

デメリット

- ①熱に弱いので、お湯で洗ったり、電子レンジには使えません。
- ②熱湯消毒できないので、生肉や生魚には使えません。
- ③みつろうが溶けることがあるため、酸が強い食材には使えません。

使い方もいろいろ! お気に入りの布で、エコなラッピングをお楽しみください。

- 適度な通気性があるので、花束のラッピングにも!
- サンドイッチやおにぎりを包んで!
- 使いかけの野菜や果物・チーズをラップして保存!
- アウトドアやホームパーティでは紙皿の代わりに!
- ちょっとしたお裾分けをラッピング。みつろうラップも一緒にプレゼント!
- 器のふたに。手のぬくもりで軟らかくしラップすれば、ピタッとフィット!

☆講座のご案内☆

大泉リサイクルセンター **みつろうラップ作り**
2月25日(木) 10:00~12:00

環境にやさしいラップの作り方のポイントをご紹介します。SDGsとプラスチックごみ削減についても学べる環境講座に、ぜひご参加ください。



容器包装プラスチックを資源として活用するために プラマークに注目! 正しく分別して廃プラスチックを減らそう

イチゴや卵のパック、肉や魚のトレイ、お菓子やパンの袋...私たちの暮らしには、さまざまな容器包装プラスチックが関わっています。これらは適切に処理することで、資源として活用することができます。正しい分別をマスターして、廃プラスチック削減にご協力ください。

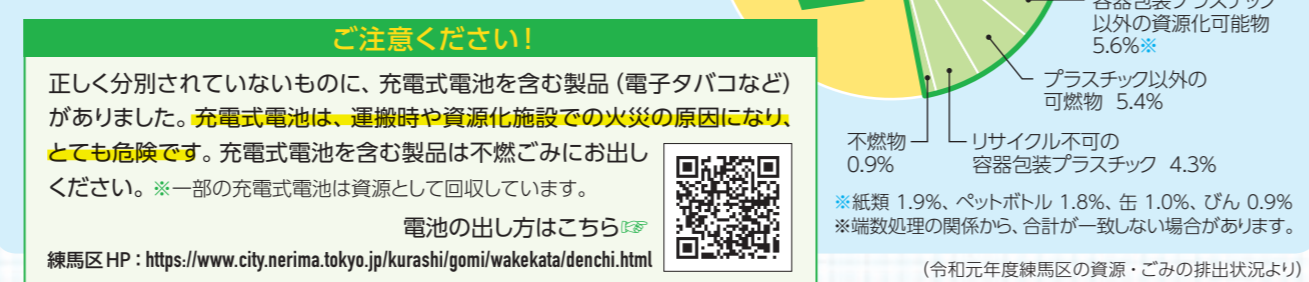
容器包装プラスチックとは

中身(商品)を取り出し、使い切った後、に不用となるプラスチック製の「容器(入れもの)」や「包装(包み、袋)」のことをいいます。プラマークの表示が目印です。

分別のポイントははこちら
日本容器包装リサイクル協会 HP: www.jprra.or.jp

■排出実態調査の結果

容器包装プラスチックとして回収した中に、正しく分別されていないものが約22%ありました。そのうち、約5.6%は、正しく分別すれば資源化できるものです。正しく分別して、リサイクルの推進にご協力ください。



■出し方

STEP 1 汚れのあるものは軽くすすいで汚れを落とします。汚れやにおいが落ちないものは可燃ごみへ。

STEP 2 ふた付きのごみ容器または透明や半透明の袋に入れ、口をしぼって朝8時までに集積所へ。
※回収後、異物を手で取り除くため、二重袋にはしないでください。小袋に入れたものはそのまま出しましょう。

■資源化の流れ



粗大ごみの収集・持ち込みは有料 粗大ごみ受付センターへお申し込みください

循環型社会を目指す活動の一環として練馬区では、練馬区資源循環センターが粗大ごみとして回収した家具を修理・清掃し、リサイクルセンターで販売する取り組みを行っています。そのため、特に春の引越シーズンになると、リサイクルセンターに粗大ごみに関するお問い合わせが数多く寄せられます。家庭から出る、粗大ごみの収集・持ち込みは有料で、粗大ごみ受付センターへ電話かインターネットでのお申し込みが必要となります。なお、練馬区資源循環センターまで持ち込む場合は、収集料金の半額となります。

●粗大ごみ受付センター

- 電話受付の場合
☎03-5703-5399
月曜日～土曜日(祝日含む 12月29日～1月3日を除く) 8:00～19:00
- インターネット受付の場合
24時間受付
<https://www.sodai-nerima.jp>
※使用しているパソコン(携帯電話、スマートフォン)の環境によりインターネット申込みが出来ない場合があります。

粗大ごみの料金検索はこちら

リサイクルセンターの利用方法 ご協力をお願いします!

リサイクルセンターは、区の指針にのっとり、新型コロナウイルス感染予防のため、適切な感染防止対策を講じううえで、事業を行っています。対策には万全を期すよう努めていますが、ご利用に際しては利用者の皆さまにもご協力いただけますようお願いいたします。



●来館にあたってのお願い

- 発熱・咳・くしゃみ等の体調不良がある場合の来館自粛
 - 最少人数での来館
 - マスクの着用
 - 入館時の「利用者カード」への記入
 - 入館時の手指等の消毒
 - 館内での人との距離の確保
 - 最小限の滞在時間
 - その他、感染リスクが高まらないための配慮
- 館内の換気と消毒など

安心安全に施設をご利用いただけるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします!

